

これまでの検討経緯と今後の予定

(第 3 回 岩手県における復興祈念公園基本計画検討調査有識者委員会 資料)

平成 2 7 年 3 月 2 4 日

1. これまでの検討経緯

平成23年3月11日 東日本大震災の発生

平成23年度

平成23年8月

- ・「岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画 第1期 (H23. 8岩手県)」に「メモリアル公園等整備事業」を位置付け

平成23年12月

- ・陸前高田市が復興計画を策定
- ・復興計画で防災メモリアル公園ゾーンの形成を位置づけ



平成23年12月
平成24年1月

- ・岩手県知事から国へ「陸前高田市高田松原地区」への国営メモリアル公園の整備を含む「東日本大震災津波に関する要望書」を提出

平成24年1～3月

- ・東日本大震災復興祈念公園検討会議
(事務局：国土交通省 都市局 公園緑地・景観課)
【行政による検討会議 (計3回開催)】

- ・震災復興祈念公園基本構想検討会
(事務局：国土交通省 都市局 公園緑地・景観課)
【有識者委員会による技術的検討 (計3回開催)】

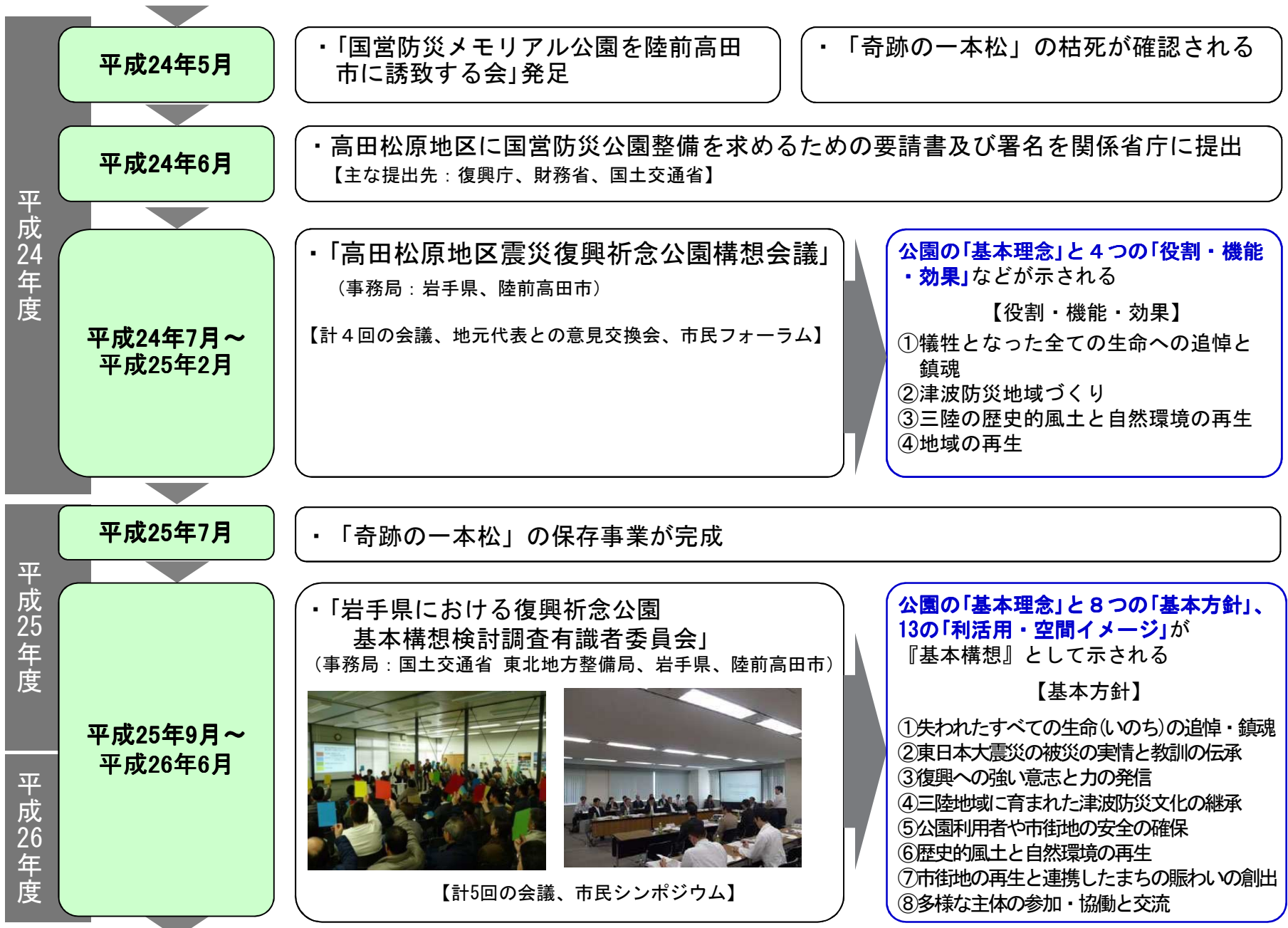
- 「震災復興祈念公園のあり方」が示される
- ・犠牲者への「追悼・鎮魂」、「震災の記録・教訓の伝承」は、全ての復興への礎
 - ・復興を目指す地域の姿を想起させるとともに、地域コミュニティの修復・構築に繋がる空間となることが求められる
 - ・観光・教育資源ともなり、地域振興面でも大きな役割が期待

平成24年3月

- ・「震災復興祈念公園整備の役割」を整理
(『東日本大震災に係る鎮魂及び復興の象徴となる都市公園のあり方検討業務 報告書 平成24年3月 国土交通省 都市局 公園緑地・景観課』をとりまとめ)



1. これまでの検討経緯



【計5回の会議、市民シンポジウム】

1. これまでの検討経緯

平成26年度

平成26年7月～

- ・「岩手県における復興祈念公園基本計画検討調査有識者委員会」
(事務局：国土交通省 東北地方整備局、岩手県、陸前高田市)



【3回の会議、4回の空間デザインワーキング、6回の協働デザインワーキング】

※平成27年度初め頃に『基本計画』を策定予定

平成26年8月

- ・「陸前高田 復興まちづくり情報館」開所

- ・観光物産施設「一本松茶屋」オープン

平成26年10月

- ・「東日本大震災からの復興の象徴となる国営追悼・祈念施設（仮称）の設置について」閣議決定

設置の「場所（陸前高田市高田松原地区他）」、「目的」、「内容」などが示される

【目的】

- ①東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂
- ②震災の記憶と教訓の後世への伝承
- ③国内外に向けた復興に対する強い意志の発信

平成27年1月

- ・「重点道の駅」（全国35箇所）に道の駅「高田松原」が選定される

平成27年3月

- ・国連防災世界会議のパブリック・フォーラムとして、東北地方整備局主催の「東日本大震災における復興祈念公園を考えるシンポジウム」を開催
宮城県、岩手県それぞれの復興祈念公園に関する基調講演やパネルディスカッションを行い、復興祈念公園のあり方を多様な視点から議論

2. 基本計画の検討経緯と今後の予定

